

難問解決
ご近所の底力
ごきんじょのそごちから

お困りデータベース検索

入力例：空き巣、落書き、地震、カラス、介護、杉並区、和歌山市など

これまでの放送一覧
これまでの放送内容をご覧いただけます。

これまでの放送カテゴリ

防犯	ボタンをクリック
悪徳商法	迷惑行為
災害・自然	暮らし
生き物	健康
高齢化	その他

ご近所のその後一覧
お困りごとのその後をご覧いただけます。

あなたの妙案を試します
妙案の効果を実際に試してみました！



▶ [番組について](#) ▶ [お問い合わせ](#)

カテゴリ: [その他](#) [皆様からの妙案](#) [ご近所のその後](#)

2006.02.02 放送

農家の男性に春を呼べ

古くて新しい難問「農家の結婚難」。しかし今、結婚を望む農家の男性に、一筋の光が差しています。近年、自然志向が高まる中、「田舎暮らしや農業をしたい」という若い女性が増えているためです。番組では、この千載一遇のチャンスをもにすするため、効果抜群の妙案を3つご紹介します。



専門家ゲスト：板本洋子さん（日本青年館結婚相談所 所長）

お困りご近所 JA松本ハイランド 青年部のみなさん

長野県松本市で長芋農家を営む中川浩充さんは、44歳の今も独身。「長芋のようにねばり強い女性と結婚したい」と願うものの、日々の生活では、全く出会いがありません。そんな農家の男性たちを救おうと地元のJAは、去年11月、「都会の女性との交流ツアー」を開催。もちろん中川さんも参加し、素敵な女性に囲まれました。しかし、極度の緊張と元来の口下手が災いし、女性と全く会話ができず、あえなく玉砕。結局、お困りご近所のみなさんも参加したこのツアーで誕生したカップルは0。「出会いがあってもそれを活かせない」新たな問題が浮かび上がる事になりました。

妙案その1 □ [口下手でも大丈夫！](#)

妙案その2 □ [緊張しなくても大丈夫](#)

妙案その3 □ [年の差あっても大丈夫](#)

妙案その1 □ [口下手でも大丈夫！](#)
～愛知・田原市～

「女性と会話が弾まない」これは、農家に限らず多くの男性が悩む難問中の難問。しかし、愛知県田原市の農家の皆さんは、その口下手を逆手にとった、ある妙案を実施し、なんと「参加男性の60%が結婚」という大きな成果をあげています。その妙案とは、ずばり「聞き上手」になるトレーニ



多くは休日はよくドライブする休みの日はどうしていますか？

ング。月一回町の公民館に集合し、会話の特訓をしているのです。その内容は、女性講師を相手にした実践形式。相手にいかに気持ちよく話してもらうかを目的に、順番に会話を披露します。他の参加者は、客観的にその会話をチェックし、自分なりのアドバイスを送ります。これを繰り返すことで、「聞き上手」な男性になり、女性の心をつかむのです。会話はケースバイケース。その都度、気づいたことを指摘しあうことが大切ですが、ここでは番組で紹介したポイントを4つ紹介します。

聞き上手になるためのポイント

1. 「何”どう”どんな’などの言葉を使うことを心がける」

→ YES、NOで答えられる質問は、多くの場合話が弾みません。女性が具体的に自分のことを話せる聞き方を心がけましょう。

2. 「質問の前に、必ず自分の意見を添える」

→ ‘どう”何”どんな’を使っても、質問だけを連発しては女性は尋問されているかのような圧迫感を感じます。質問する際は、「自分はどうなのか」「どう考えている」を簡潔に述べてから女性に聞きましょう。

3. 「分からないことは正直に聞き返す」

→ 多くの男性は、「知らないことは恥ずかしいこと、失礼なこと」と思いこみ、女性の話の中に知らない事柄が出てきても、それを隠し、無理に話を合わせてしまいがちです。知らないことは恥ずかしいことではありません。それを聞き返すこと自体が会話を弾ませる一つの要因にもなります。女性に素直に教えてもらいましょう。

4. 「相づちや表情は相手に分かるようにする」

→ 相づちや表情は、コミュニケーションの重要な要素です。自分では相づちを打っているつもりでも、相手に聞こえていなかったり、無表情でただ話を聞くだけでは会話は弾みません。しかし、これは自分ではなかなか分からないもの。一緒に練習する仲間が指摘してあげましょう。



妙案その2

緊張しなくても大丈夫
～新潟・山北町～

農家の結婚難を解消しようと、全国各地で開かれている都会の女性との交流会。しかし、かしこまった場では緊張してしまい、なかなかうまく話せないもの。そこで、新潟県山北町のみなさんが考えたのは「畑での交流会」。農業体験をしたいという女性を都会から集め、そのサポート役を農家の独身男性が務めます。農作業の話なら男性も緊張せずに話せるという訳。この交流会、4月から10月までの毎月1回一泊二日で開かれるのが大きな特徴。長期に



渡って交流できるため焦る必要はなく、畑おこしや手入れの苦勞から収穫の喜びまで男女で分かちあうことができます。女性に毎月、足を運んでもらうために、女性が自分の好きな作物を作ることができる畑を貸したり、地元の女性を講師にした料理教室など様々な工夫も満載です。



妙案その3

年の差あっても大丈夫
～宮崎・西米良村～

宮崎県、西米良村で花農家を営む浜砂誠二さんは、5年前、45歳の時に電撃的に結婚。小さな村を驚かせました。お相手は、なんと17歳年下、ワーキングホリデーでたまたま村にやってきた昌子さん。受け入れ農家として昌子さんに会った誠二さんは、昌子さんに一目惚れ。「これが最後のチャンス」と開きなおり、それまで自分では誇りに思っていながらも、女性に対してはコンプレックスだった(1)宮崎弁、(2)田舎暮らし、(3)農業の魅力を、隠すのではなく積極的にアピール、見事都会から来た女性の心をつかみました。農家や田舎暮らしは、大きな武器！農家の男性に勇気を与えるくれるラブストーリーです。



Copyright NHK (Japan Broadcasting Corporation) All rights reserved. 許可なく転載を禁じます。
お問い合わせ | [NHKにおける個人情報保護について](#) | [NHK著作権保護](#) | [NHKオンライン 利用上のご注意](#)